

横田基地への垂直離着陸機オスプレイ配備問題について、日本共産党羽村市議団がおこなった羽村市長への申し入れ文書をお知らせします。

横田基地へのCV22オスプレイ配備計画の撤回にむけ、最大限のあらゆる努力を求め  
る申し入れ書

羽村市長 並木心 様

平成27年5月11日  
日本共産党羽村市議団  
浜中じゅん  
鈴木たくや

日ごろからの市政運営たいへんご苦勞様です。

さて、5月9日、新聞等で「CV22オスプレイを横田基地に10機配備することを米軍が決定し、日本政府に伝えた」との報道がなされました。また、中谷防衛相は記者団に問われ、「配備をしていくことについては、必要性に応じて調整していくべき」と容認する姿勢を示しました。

CV22オスプレイは、特殊作戦機として過酷な条件で運用され、大変高い事故率を示している危険な航空機です<sup>※</sup>。そうした航空機を人口密集地にある横田基地に配備し、運用することは、絶対に認めることができません。

これまで羽村市は、横田基地周辺4市1町とともに、「CV22オスプレイの横田基地への配備検討の撤回」を求めるなど、市民の安全を守り、また、基地機能の強化に反対する立場から、積極的な努力を続けて来ました。

市民からはこうした市の姿勢を評価し、「オスプレイの配備中止を求めてこれからも頑張ってもらいたい」との声が私たちにも寄せられています。

引き続き、こうした市の姿勢を堅持しながら、横田基地周辺4市1町との連携を強化しつつ、CV22オスプレイの配備計画を撤回にむけて、日・米両政府への働きかけを首長を先頭に強めるなど、最大限のあらゆる努力をおこなうことを求めるものです。

※10万時間あたりの事故率は、MV22オスプレイが1.93。CV22オスプレイが13.47。(2012年の防衛省資料)

以上

# 新しい日本共産党羽村市議団の抱負

●4月26日におこなわれた羽村市議会議員選挙で選出された共産党市議団の二人に、抱負を語っていただきました。



## 浜中じゅん 議員

私は、今回の初の市議選で900回に迫る街頭演説と小作・羽村駅で早朝街頭演説を行ってきました。

その中で「戦争する国づくりをストップさせる」「どの子ども大切にされる教育、若者の就職支援、市民の健康を守る」「実現のための財源は羽村駅西口の区画整理を見直し作る」ことを訴え、大きな手ごたえを感じました。これらの公約実現に力をつくします。

同時に国民の生活と平和を脅かす安倍暴走政治を告発し、あらゆる方法で国や都に改善を求めていきます。

また、教え子など若者をはじめ選挙でつながった方々に様々な運動に参加してもらい、党と後援会の強化に皆さんとともに取り組みます。全力で頑張ります。よろしく願いいたします。



## 鈴木たくや 議員

大きなご支持で議会に送っていただき、感激と同時に責任を感じています。3期目の議会では、次のことに力を入れていきます。

①政策提案をどんどん行います。羽村駅西口区画整理事業をみなおし、暮らし・福祉・教育に予算を振りむけるために全力をつくします。

②「戦争する国づくりに反対」の声を羽村市から発信していきます。国へ意見書をだすことや、憲法9条を守る市民運動にとりくんでいきます。

③より広範な市民や他党派との共同をひろげます。一致点を大事にしなが、一歩でも二歩でも政治を前に動かす努力をつよめていきます。

みなさまの応援、また叱咤激励、よろしく願いいたします。